

コウリツノヨイベンキョウホウ

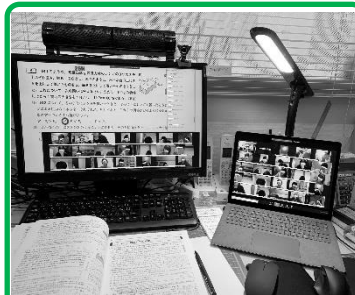
大学受験において効率のよい勉強法はただ一つ、じっくりと時間をかけて原理原則を理解することです。しかし、皆さんの多くはコウリツノヨイベンキョウホウを望みます。つまり、「たった1年間で私が東大に受かった勉強法」みたいなやつです。気持ちはわかりますが、そんなベンキョウホウに飛びつく人で成功する人は稀です。大学は学問をする場所であり、大学入試はその資質をみるための試験です。ペラペラの知識で解けるほど甘くありません。まずそのことを肝に銘じましょう。ところで、この2か月はまさに「じっくりと時間をかける」ことができる期間でした。普段は部活や学校の予習で圧迫され、「自分の勉強」ができないと嘆いている人はさぞかし勉強がはかどったことでしょう。これを機に己の甘さ、緩さ、弱さをしっかりと認識し、学校が再開されたあとも正面から勉強と向き合ってくれることを切に願います。〔金子祐太〕

5月・6月のおもなスケジュール		
5/23	土	中2保護者会(15:30~16:30)
6/7	日	第2回公開テスト(小学生・中3)
14	日	第2回公開テスト(中1・中2)
27	土	附属池田高校進学説明会(13:00~14:30)
28	日	教育相談会①〔予定〕 第1回英語検定〔予定〕
29	月	教育相談会②〔予定〕
30	火	教育相談会③〔予定〕

※今後のスケジュールについては、状況に応じて変更する場合がございます。

世界を見通す目

休校に入って2か月、ようやく出口が見えてきました。この間、社会や人々の動きを見るにつけ、「勉強してよかった」と感じてきました。みなさんにとって勉強とは、たいていが「テストでよい点をとるため」「よい学校に入るため」のものでしょう。その性質を否定するものではありませんが、大人は異なる感覚を持っています。それは「社会(世界)を見通す目を養うため」です。知識の量や質をデジタルカメラの解像度に例えると分かりやすいでしょう。解像度の高いカメラは遠くのものでもはっきりと捉えることができ、細部の違いまで認識できます。人間の目や感覚もそれと同じです。ぜひ「解像度の高い目」で世界を見てもらいたいです。〔金子祐太〕



Zoomでのオンライン指導の様子。教室での撮影だけでなく、自宅でのテレワーク授業も行っています。

4月の“自習王”

今月の自主王は、各自宅でのズーム遠隔授業実施のため、教室で学習時間の発表は、お休みとさせていただきます。

情報発信源の人になろう!

情報の発信を待ってから行動する人、自ら情報発信できる人とは、対局しているように感じます。マスクをする。自宅で過ごす。各個人ができることは、自己責任とし、その次に何ができるのかを考え、行動できる人の英知が、今試されているようにも思えます。学校の再開まで、生活リズムを整え、いつ再開されても、学習面でも十分な力をつけ、学校生活が過ごせるよう取り組んでいきましょう。〔澤井伸一〕

毎月の学費振替日は27日(金融機関休業日の場合は翌日)となっております。受講変更等の変更がございましたら毎月10日までにご連絡をいただけますようどうぞよろしく願いいたします。

6月分 5月27日(水) 学費の振替

「オンライン指導」に必要なものとは…

当学院では、4月7日の緊急事態宣言に基づく分散通塾と一部オンライン指導を実施。さらにその後の県知事からの学習塾休業要請を受けて14日からは教室を閉鎖し、全面オンライン授業体制を進めてまいりました。開始前は、ご家庭のネット環境の整備状況が不安材料でしたが、大きな障害もなくスタートでき、感謝いたしております。

この通信が発行される頃、どのような感染状況になっているかは不明ですが、少なくとも完全終息に至る状態ではないと思われますので、子どもたちの安全確保のために、今しばらくこのスタイルを続ける見込みです。

この間、人生初のリモート指導を行って感じたのは、「オンライン授業は技術面やカッコよさでなく“温かさ”と“面倒見の良さ”が最も大切な要素である」ということ。私たちは、見た目や技術力のみこだわった浅薄なオンライン授業を行わず、教室での対面授業と何ら変わらない、「子どもたちに寄り添う、双方向の温かい授業」を粛々と実行したいと強く心に誓っています。双方向の質問対応はもちろん、Classroomによる課題の電子配布や採点・提出なども順次活用していただきます。オンラインGAIBEN(自習室)へのご参加もお待ちしています。

まだまだ未知数な部分も多く、戸惑われるシーンも多々あるかと存じますが、ご家庭と一緒に築き上げたいと思いますので、引き続きご協力いただけますようよろしくお願いいたします。〔北村昌弘〕

代表北村の独り言…

さらに延長はツイイですが、この時期を「新しい能力を身につける最大のチャンス」と前向きに捉え一緒に乗り切りましょう!

編集後記

子どもたちがずっと自宅で過ごすようになって2か月半、毎日3食の食事の用意に疲れてきました。お昼は、簡単に子どもたちが好きなメニューが多くなり、パスタ・うどん・ラーメン・チャーハンなど炭水化物メインのものばかり。それを補おうと、朝晩は野菜やたんぱく質を意識的に増やすのですが、献立もマンネリ化してしまい…。時間があるからと、スローフードに取り組んでおられる方や普段とは違うレシピに挑戦している方の話を聞かされた時に、すごいなぁと敬服するものの、なかなか「よし、私も!」とならない私がいるのでした。